



日本病院前救急救命学会

# JSPELS

第2号

令和3年9月1日

newsletter

Japanese Society for prehospital emergency life-saving

一般社団法人日本病院前救急救命学会 事務所 〒164-0001 東京都 中野区中野2-2-3 (株)へるす出版内  
E-mail:info@jspels.jp URL:https://jspels.com

## 第7回日本病院前救急救命学会学術集会開催のお知らせ

第7回日本病院前救急救命学会大会長  
(国士舘大学) 津波古 憲



このたび、2021年10月31日(日)に第7回日本病院前救急救命学会学術集会を開催させていただく運びになりました。第7回学術集会は、新型コロナウイルス対応として、WEBで開催とすることといたしました。本年は改正救急救命士法の施行及び新型コロナウイルス感染症拡大に対する政策として、救急救命士がワクチン接種の打ち手となり、感染対策が展開されるなど、

救急救命士に課せられた使命の大きさを感じます。そのような背景から本学術集会のテーマは、救急救命士法改正元年として、今後さまざまな変革に伴い、活躍する場の多様化が予想されることから、「救急救命士が目指す将来像～それぞれの現場における professional autonomy～」としました。病院内外の救急救命士の将来像について考える企画として、2つのパネルディスカッションを企画しました。

1つ目の企画では、病院前における内容として、消防・海上保安庁・自衛隊・民間企業における指導的役割

の救急救命士をパネリストとしてお招きし、病院前における取り組みをご紹介頂き、これからの将来像についてディスカッションを行います。

2つ目の病院内の企画として、院内で働く救急救命士をお招きし、各病院の取り組みについて紹介頂き、法改正後の病院救急救命士の活躍や課題についてディスカッションを行います。

また、救急救命士の活動に関する変更というトピックスから、本年3月31日に全て公表されましたJRC蘇生ガイドライン2020について取り上げました。

JRC蘇生ガイドライン2020作成編集委員長である野乃木宏先生を講師としてお招きし、ガイドラインに関する最新の情報をお届けする教育講演を致します。

更に、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンライン化が進む中、教育現場において変化が起きています。救急救命士教育においてもデジタル技術を導入した取り組みが検討されており、その新たな取り組みとしてVR(バーチャルリアリティ)を使用した救急救命士教育が始まっています。救命士養成機関における実例を紹介し、今後の新たな救急救命士教育の将来像として考える内容となっています。

以上のラインナップで第7回学術集会プログラムは構成され、実行委員会では会員の皆さまに有益な情報をお届け致します。

## 会員募集中

名称 一般社団法人日本病院前救急救命学会

設立年月日 2014年5月30日

主な活動

- ・ 学術集会の開催
- ・ 会員向けワークショップの開催
- ・ 救急救命士及び病院前救急医療に関する調査・研究、教育と普及・啓発
- ・ 会員相互の情報交換及び機関誌の刊行
- ・ 国内外における関係諸団体との交流
  - ・ 日本臨床救急医学会メディカルコントロール検討委員会への委員の派遣
  - ・ JPTEC協議会への役員の派遣
  - ・ 病院前救護統括体制認定機構への理事の派遣など

会員区分

- ①正会員本法人の目的に賛同し、所定の入会手続きにより入会した救急救命士の資格を有する個人。
- ②賛助会員本法人の目的に賛同し、事業を賛助するために、所定の入会手続きにより入会した医師、看護師などの医療職種、または救急隊員資格を有する個人。

③名誉会員本法人の発展に特に功労のあった者で、理事会より推薦され、評議員会の承認を得た個人。

④協賛会員本法人の目的に賛同し、事業を支援するために、所定の入会手続きにより入会した個人又は団体。

会員登録

**入会金5,000円 年会費5,000円**

(協賛会員団体50,000円/口)

会員登録は専用フォームからお申込みください。ご登録頂いたご住所に振込用紙を送付致しますので、入会金・年会費をお振り込み下さい。

お振込が確認できた段階で会員登録致します。

会員登録作業は月2回のため、お待たせすることがございます。また、お振込確認後の会員登録が完了した旨の連絡は致しませんので、ご了承下さいませよう、お願い申し上げます。

日本病院前救急救命学会  
会員申し込み専用フォーム



第7回日本病院前救急救命学会学術集会 予定プログラム

開催日時：令和3年10月31日（日）9時00分～17時00分

方式：WEBによる中継

Zoom ウェビナー日本病院前救急救命学会オフィシャルサイトから

テーマ：救急救命士が目指す将来像

～それぞれの現場における professional autonomy ～

会長：津波古 憲（国土舘大学 体育学部 スポーツ医科学科）

プログラム（ZoomウェビナーによるLIVE配信）

■9:00～9:15 会長講演

第7回日本病院前救急救命学会 大会長 津波古 憲

座長：関根 和弘（京都橘大学）

■9:15～10:15 教育講演

JRC蘇生ガイドライン2020 野々木 宏（日本蘇生協議会 代表理事）

座長：脇田 佳典（日本病院前救急救命学会 代表理事）

【休憩10:15～10:20】

■10:20～11:50 パネルディスカッション①（指導救命士セッション）

～professional autonomy の確立～ 指導的役割の救命士と各機関の取り組み

座長：北村 浩一（石橋地区消防組合）、原 貴大（明治国際医療大学）

パネリスト：佐久間 友行（福島市消防本部）、長谷 浩（明石市消防局）、小野泰弘（海上保安庁）、菊地 誠二（陸上自衛隊）、後藤 奏（日本救急システム株式会社）

【休憩11:50～12:00】

■12:00-13:30 教育セミナー

座長：鈴木 健介（日本体育大学）

共催：一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 共催プログラム

教育施設におけるVRシステムを使用した救急救命士教育（JESA）

【休憩13:30～13:45】

■13:45～15:00 一般演題 5題

座長：中川 貴仁（弘前医療福祉大学/短期大学部）、一柳 保（高野町消防本部）

【休憩15:00～15:15】

■15:15～16:45 パネルディスカッション②（救急救命士法改正セッション）

救急救命士法改正に伴う医療機関内での救急救命士の活動の現状と課題

座長：長橋 和希（東京曳舟病院）、喜熨斗 智也（国土舘大学）

特別発言者：三浦 邦久（医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 副院長）

パネリスト：北原 学（国立国際医療研究センター病院）

加藤 渚（東京医科歯科大学病院）、佐々木 俊一

（済生会宇都宮病院）、古賀 司（米盛病院）

■16:45～17:00 次回会長挨拶・閉会の言葉

第8回日本病院前救急救命学会

大会長 関根 和弘（京都橘大学）

■17:00 閉会



【参加費】

会員：無料

非会員：

（事前登録）：10月15日まで **3,000円**

（直前登録）：10月16日～当日 **5,000円**

【非会員の皆さまへ】

上記参加登録後、下記口座へご登録頂いたお名前前で参加費のお振り込みをお願い申し上げます。

○ゆうちょ銀行

○店番：〇二九店

○預金種目：当座

○口座番号：0144096

○口座名称：第7回日本病院前救急救命学会学術集会

※恐縮ですがお振込手数料はご負担願います。

## 日本病院前救急救命学会準機関誌発刊のお知らせ

創刊からご好評をいただいております「救急救命士ジャーナル」の第2号が発刊されます。創刊号からさらに内容も充実。いよいよ連載物がスタートします。当面、学会員には無料配布を予定しております。是非とも、この機会にご入会くださいますしてジャーナルをその手に取って頂きたいと思っております。会員皆様からの論文も随時受け付けております。掲載される論文の質と学会誌としての信頼性を保つよう、査読者による査読システムを採用しております。これまで投稿先がなく、半ばあきらめていた救急救命士の方々も胸を張って投稿いただけます。詳しくは救急救命士ジャーナル投稿規定、またはオフィシャルサイトをご覧ください。

一般社団法人  
日本病院前救急救命学会準機関誌  
Journal for Emergency Life-Saving Technician

救急救命士が作る  
救急救命士のための



# 救急救命士 ジャーナル

年4回発行  
編集発行人/佐藤 枢 発行所/株式会社へるす出版

## 第2号の目次 (予定)

- ◆第7回日本病院前救急救命学会学術集会  
プログラム・抄録集
- ◆進取果敢；全国各地、新たな取り組みを紹介！  
今回はVRについて特集します
- ◆救急救命士図鑑；いろんな救急救命士をピックアップ 消防学校長の救急救命士
- ◆外傷病院前救護の現状 from JPTEC

- ◆巨人の肩の上に立つ；救急救命士が読み解く  
海外の最新論文
- ◆研究スタートアップ講座 論文の読み方ことはじめ
- ◆学会員の声
- ◆編集委員長の救急救命士よもやま話
- ◆投稿論文

2021年9月30日発行 定価(本体1,500円+税)  
へるす出版のサイトからご購入いただけます

## 救急救命士ジャーナル投稿論文を振り返る

救急救命士ジャーナル創刊号には投稿論文「杉木翔太, 他：群衆密集度ならびに複数階を有する建築物がAED取得に要する時間に与える影響」が掲載されました。日本救急医療財団が示すガイドラインでは、AEDは現場から片道1分以内の密度で配置することが提唱されています。150m/分の早歩きを想定した場合、300m間隔での設置となる計算です。筆者らはバイスタンダーが100m離れた地点にあるAEDを持ち帰るまでの時間を、混雑している場所(10m四方に70人以上が存在)と閑散としている場所(10m四方に10人以下)で比較しました。結果、混雑群 vs 閑散群：127.8±10.6秒 vs 102.7±6.5秒 ( $p<0.001$ )と有意に延伸することがわかりました。また、早歩きの速度も混雑時には117m/分から96m/分に低下し、人との衝突を避けるために立ち止まる回数も増加したと加えています。混雑時にはAEDを発見するための時間も延長するので、AEDの存在を知らせる標識などの工夫やスマートフォンのアプリなどでPAD(Public Access Defibrillation)を早期に実施する取り組みも重要であること考察しています。

この研究の参考文献では、10m四方に約50人以上が存在すると移動に遅れが生じ始めるという報告があり<sup>1)</sup>それがどの程度の密集度であるかは、井上らが視覚的資料を提供しています(写真)<sup>2)</sup>。



写真：50人/10㎡の人口密度

今回、杉木らは階段を利用した垂直方向での移動時間についても横断研究を行って、階層が増加するごとにAEDを持ち帰る時間は延伸することを明らかにしています。

今後、マスキャザリングの救護体制において重要な資料になることは間違いありません。このように、我々は感覚的に時間は伸びるであろうということは把握していたとしても、実験によりそれを証明し、実際にどの程度の割合で延伸するのかといった具体的な数値の提示は大変意義のあるものだと感じました。些細な疑問や普段は慣例として踏襲されている事象であっても、ふと立ち止まって思考を巡らせると、それは一つの重要な疑問“study”となり、研究という扉を開けるきっかけになるのだと思います。(T.Ichiryu)

- 1) 山本昌和, 他：駅の階段とホームの狭隘部における混雑時の歩行安全性評価. 鉄道総合技術論文誌 2013; 27: 43-8
- 2) 井上拓訓, 他：マスキャザリングイベントにおける救護移動速度. 国土館 防災・救急救助総合研究2019; 5: 15-26.

先般、低血糖又はけいれん重積状態に対する医薬品の販売が開始されたことにより、救急現場において、傷病者やその家族等が当該医薬品を所持又は使用している状況が想定されるようになりました。

このことについて、令和3年8月6日付け、総務省消防庁救急企画室から全国都道府県向け医薬品情報の周知について通知がされました。その内容を掲載いたします。下線部分は特に重要であることが特記されています。なお、本通知は総務省消防庁のサイトでもご確認いただけます。

### 1 医薬品情報

#### (1) 低血糖時救急治療剤 グルカゴン点鼻粉末

ア. 販売名 バクスミー点鼻粉末剤 3mg

イ. 販売開始時期 2020年10月

ウ. 効能又は効果 低血糖時の救急処置

エ. 重要な基本的注意（抜粋）

○ 低血糖を生じた患者に本剤を投与しても、意識レベルの低下等の低血糖症状が改善しない場合は、直ちに、ブドウ糖を静脈内投与するなど適切な処置を行うこと。本剤の繰り返し投与によるグルコース濃度上昇作用の増大は認められていないため、本剤又は他のグルカゴン製剤の追加投与は行わないこと。なお、回復した場合でも糖質投与を行うことが望ましい。

○ 本剤投与で意識レベルが一時回復しても、低血糖の再発や遷延により、めまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。

オ. 重大な副作用 ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）

#### (2) 抗けいれん剤 ミダゾラム口腔用液

ア. 販売名 ブコラム口腔用液2.5mg ブコラム口腔用液5mg ブコラム口腔用液7.5mg ブコラム口腔用液10mg

イ. 販売開始時期 2020年12月

ウ. 効能又は効果 てんかん重積状態

エ. 重要な基本的注意（抜粋）

○ 無呼吸、呼吸抑制、舌根沈下、血圧低下等があらわれるおそれがあるため、医療機関で投与する場合は、本剤投与前に救急蘇生のための医療機器、薬剤等を準備しておくとともに、本剤投与中は、パルスオキシメーターや血圧計等を用いて、患者の呼吸及び循環動態を継続的に観察すること。

○ 保護者又はそれに代わる適切な者が本剤を投与する場合は、その適用開始にあたり、医師は保護者又はそれに代わる適切な者に対して、以下の点について指導すること。

- ・ 原則として本剤投与後は救急搬送の手配を行い、10分以内に発作が停止しない場合や薬剤を全量投与できなかった場合、浅表性呼吸や意識消失等が認められた場合は、医療機関に救急搬送すること。その際、本剤投与状況の確認のため、使用済みのシリンジを医療従事者に提示すること。

- ・ 本剤投与後に発作が再発した場合でも、本剤を追加投与しないこと。

- ・ 呼吸抑制及び徐脈等があらわれるおそれがあるため、患者の呼吸数及び脈拍数を確認し、無呼吸、呼吸抑制、脈拍数低下がないか等、患者の状態を注意深く観察するとともに、救急搬送の手配等の緊急事態の対応に備えること。

オ. 重大な副作用 呼吸抑制（4.0％）無呼吸、呼吸困難、呼吸停止等があらわれるおそれがある。

### 2 その他

上記の医薬品については、別添の医薬品添付文書及び患者向医薬品ガイドが示されているため、併せて参考にされたい。

なお、救急現場において、救急救命士を含む救急隊員が、傷病者やその家族等に代わって当該医薬品を投与することはできないことを申し添える。



糖尿病治療薬バクスミー®点鼻粉末剤

<https://www.diabetes.co.jp/hcp/baq/device-usage>

©Eli Lilly Japan K.K.

### 抗けいれん剤 ブコラム®口腔用液

[https://www.takedamed.com/medicine/detail/?medicine\\_id=1237](https://www.takedamed.com/medicine/detail/?medicine_id=1237)

©Takeda Pharmaceutical Company





## 応急手当講習インストラクションの情報交換に参加しませんか

### ●西岡 和男

日本病院前救急救命学会教育研修委員長／評議員

はじめに、新型コロナウイルス感染症の猛威が続く厳しい環境の中、身を削るように仕事に専念していらっしゃる皆様を心より敬慕いたします。立場を超えてスクラムを組み、支えあって乗り越えていければと願っております。

### コロナ禍で生まれた新しいコミュニケーション

コロナ禍により「新しい生活様式」が探求される中、ソーシャルディスタンスを取る必要に迫られた人々の間でZOOMなどの会議ツールが、様々な場面で利用されるようになりました。ほんの2年ほど前は日本病院前救急救命学会の役員間でもツールに対する理解は、よちよち歩きともいえる状況でしたが、本学会でもZOOMを利用した学術集会を開催してきました。このように、新しいコミュニケーションツールが多くの人たちに利用されるようになったことで、Teamsやslackなど、ネット上で効率的にビジネスを展開できるツールも発達してきています。

### 救急救命士にとっての可能性

今や救急救命士は、消防組織だけではなく医療機関の中へもひろがり、より多様な知識や技術を相互に研鑽しあうことが極めて大切な職種となっています。このように活動範囲が広がり多角的な社会の期待を担うこととなった救急救命士にとって、新しいコミュニケーションツールと、従来のニュースペーパーやジャーナル、Facebook、メールなどの良さとうまく連携して、これまでになかった、空間や時間を超えた双方向型の新しい研究活動が重要な役割を果たすのではないかと考えます。

### 応急手当インストラクションの情報交換

時折、救急隊員の皆さんから「講習会って、なかなかうまくいかないですよ」「難しいですよ」という声が聞こえてくることがあります。

皆さんは、指導の技術をどのように学んでいますか？ 講習で教える項目については、多くの学ぶ機会も様々な資料もあると思います。その半面、指導テクニックという観点で見ると、確立した学びの機会は多くはなく、おそらく講習の上手な先輩のやり方を見よう見まねて学んでいる、という方が多いように思います。

### さあ、はじめましょう

ここでは、講習がうまい先輩のようになるには何が必要なのだろう。どうしたらもっとうまくなれるだろう。ということについて、ニュースレターや新しいツールを使い、皆さんと双方向のディスカッションをしてゆきたいと思っています。主役は読者の皆さんです。ご意見ご感想、そのほか、こんなことができたなら意見が出せる、とか、こんなことがあったら楽しく学べる、というアイデアをお待ちしています、どんなことでも気軽に持ち寄ってください。

## 応急手当講習 インストラクションの井戸端会議

10月9日(土) 20時開設

参加者制限：先着80名様

アドレスは会員用メーリングリストに通知いたします

### なんでこんなに珍妙なテーマなのか

応急手当の講習がうまくできるようになるには、どうしたら良いんだろう？と思っている人はとても多いように思います。反対に自分はずまいと思っている人の中でも、実はポイントをはずしている。ということも少なくありません。でも、誰かとインストラクションについて振り返ってみる、語り合ってみる、ということは意外と少なくはないでしょうか。それに、コロナ過のために、ただでも講習が少なくなっている中では、その機会も得にくくなっていると思います。

応急手当講習は、受講者にとって「楽しくてためになる」というのが一番だと思います。そのためには講師となる人が心から講習を楽しめることが大切な要素だと思います。

そういうことから、楽しくインストラクションを進めることができるコツやアイデアをワイワイと語り合う場所にしたいという思いをこめて、こんなテーマにしてみました。

### どんなことを語り合うのか？

応急手当講習会のレッスンプランという、消防組織では「普通救命講習」などで示されたものがベースになっていることが多いと思います。そして、短い時間の講習を依頼されたときには、このプログラムのどこかを端折って計画する。という感じで臨むことが多くはないでしょうか？

近年、インストラクショナルデザインが注目されています。それ知っている、という方も多いと思いますが、救急講習を受講する人達にとって、①講習を受けて、どのような変化があることが有益か ②そのためには、どの題材を選んで、それをどのように組み立てて講習を展開すると効果的か。そんなことをみなさんと語り合う場所を10月9日にZOOMで、設けます。他にも、講習会後の反省や改善点などの持ち寄りも考えています。

応急手当講習に関わりがなかった方も、ZOOMミーティングにちょっと触れてみたいなあという方もウェルカムです。お気軽にご参加ください。

## 救急救命士ジャーナル投稿規定

### 1. 名称

名称は、救急救命士ジャーナルとし、本誌の英文名は“Journal for Emergency Life-Saving Technician”とする。

### 2. 目的

本誌は日本病院前救急救命学会の準機関誌であり、病院前救急救命学の進歩と発展に寄与することを目的とする。

### 3. 投稿資格

- 1) 筆頭著者は本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が寄稿を依頼した場合は、その限りではない。著者の人数は10名以内とする。
- 2) 投稿論文は二重投稿ではない旨を明記した「誓約書」に必要事項を記入して添付すること。

### 4. 論文の受付

論文の受付には以下の要綱を満たす必要がある。

- 1) 著者の人数が10名以内である。
- 2) 8. 文章執筆要領に則した記述である。
- 3) 投稿論文は二重投稿ではない旨を明記した「誓約書」及び、申告するCOIがある場合はCOI 申告書を提出している。

### 5. 論文の採否

投稿論文の採否は編集委員を含む3名で査読後、編集委員会の審査によって決定し、採用となった場合はその日をもって受理年月日とする。

### 6. 投稿内容

- 1) 本誌への掲載は救急救命士及び病院前救急救命の領域の論文とする。
- 2) 論文は国内で未発表のものに限り、二重投稿は禁止する。ただし、海外で日本語以外の言語で発表した論文を日本語で記載しなおした場合は二重投稿とはみなさないが、著作権の保有者に使用許諾を得ていること、及びその場合の論文カテゴリは、「資料」とし最初の論文の掲載誌を明記する。

### 7. 投稿論文の種類

論文の種類は、総説、原著、調査・報告、症例・事例報告、資料・その他とする。

- 1) 総説  
多面的に国内外の知見を集め、文献調査に基づき、総合的に学問的状况を分析・概説し、考察したもの。
- 2) 原著  
論文の体裁(目的・対象と方法・結果・考察)が整っており、研究内容に新規性、独創性があり、方法の信頼性、妥当性が高く、その知見が論理的に示されており、学術的価値の高いもの。
- 3) 調査・報告  
独自に行った調査等の結果をまとめ、報告並びに解説したもの。

### 4) 症例・事例報告

単独または複数の症例や事例をまとめ、考察を加えたもの。

### 5) 資料・その他

編集委員会が適当と認めたもの。

### 8. 文章執筆要領

- 1) 原稿はパソコンの文書作成ソフト (Microsoft® wordなど) にて作成し、A4判横書きで、40字×30行で行ページ設定する。
- 2) 現代仮名遣いに従い、医学用語を除き常用漢字を用いる。
- 3) 度量衡の単位はCGS単位を用いる。
- 4) 統計処理を行った時は、統計学的検定法を明記する。
- 5) しばしば繰り返される語は略語を用いてよいが、初出の時は完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。(例) 心肺停止 (cardiopulmonary arrest、以下CPAと略す)
- 6) 図、表、写真の引用は該当文章の末尾とする。
- 7) 原著の本文は、はじめに、目的、方法、結果、考察、結論の順位に記述する。
- 8) 症例・事例報告の本文は、はじめに、症例、考察、(結論)の順に記述する。
- 9) 論文の本文には頁数を付す。
- 10) ランニングタイトルは20字以内とする。

### 9. 和文要旨

400字以内の和文要旨をつける。

### 10. 索引用語

原則として日本語とし、総説、原著、調査・報告は5個以内とする。索引から目的の論文を確実に検索できるようなものを選択する。

### 11. 字数制限

原稿は本文、図表、写真、文献を含めて12,000字以内とする。図、表、写真は縦5cm×横7cmに縮小印刷が可能なもの1点を400字相当と換算する。

### 12. 図、表、写真

- 1) 図、表、写真には図1、表1、写真1などそれぞれに通し番号をつけ、日本語でタイトルを表記する。
- 2) 写真は解像度が高いものが望ましい。
- 3) 本文内に図、表、写真、の挿入箇所を示したうえで、用紙1枚に1点とし、「図、表、写真番号、」「タイトル」「説明文」を記載する。
- 4) 元データがある場合は提出する。
- 5) 図、表、写真等を引用・転載する場合は、著者自身が著作権者の了解を得た上で、出所を明記する。
- 6) 図表は原則としてモノクロとする。カラーでの掲載を希望する場合はカラー掲載料を著者が負担する。

## 救急救命士ジャーナル投稿規定

## 13. 文献

- 1) 文献は本文中に上肩付した引用番号順に配列し、20編程度とする。
- 2) 著者は筆頭著者から3名までは明記し、それ以上は「他」または「et al」とする。
- 3) 雑誌名略記は医学中央雑誌刊行会・医学中央雑誌収載誌目録略名表及びIndex Medicusに準ずる。

## 4) 文献記載例

<雑誌>

引用番号) 著者名: 題名, 雑誌名 発行西暦年;  
巻: 頁-頁.

- 1) 片山祐介, 北村哲久, 清原康介, 他: 救急電話相談での緊急度判定で緊急度が低かった救急車出動事例の検討. 日臨救急医会誌 2018; 21: 697-703.

- 2) Kinoshi T, Tanaka S, Sagisaka R, et al: Mobile Automated External Defibrillator Response System during Road Races. N Engl J Med 2018; 379: 488-489.

<単行本>

引用番号) 著者名: 分担項目題名, 編者名, 書名.  
(巻). (版). 発行所, 発行地, 西暦年, p頁-頁.

- 1) 鶴飼卓: 阪神・淡路大震災. 鶴飼卓他編. 事例から学ぶ災害医療. 南江堂, 東京, 1995, pp35-48.

<WEB サイト>

引用番号) サイト機関: ページ名.(改行)URL(最終アクセス日: yy.mm.dd)

- 1) 総務省消防庁:平成30年度版救急救助の現況.  
<https://www.fdma.go.jp/publication/rescue/post7.html>  
(アクセス日: 2020.1.26)

## 14. 倫理規定

- 1) 投稿論文のなかで、臨床に関わるものにおいては、傷病者や被験者ならびに特定の個人の人權を損なうことのないよう、必要に応じて倫理委員会による審査を得るなどして、十分配慮されたものでなければならない。

- 2) 個人が特定される年月日などの記載は臨床経過を知るうえでの必要最小限にとどめ、プライバシー保護に留意すること。

- 3) 実験動物に関わるものにおいては、動物愛護の面に十分配慮されたものでなければならない。必要に応じてその旨を記載する。

## 15. COI (利益相反) の開示

全著者の投稿内容に関連する企業や営利を目的とした団体からの資金援助等の利益相反関係を開示しなければならない。

## 16. 校正

掲載直前の最終校正は著者校正とするが、その際、大幅な追加、削除は認めない。

## 17. 別刷り

- 1) 発注は10部単位とし、製作費の実費を支払う。
- 2) 注文は著者校正時に行う。
- 3) 料金の支払いをもって発注完了とし、発注完了後1か月を目途に納品する。

## 18. 論文の著作権

本誌に掲載された著作物の著作権は、著者と日本病院前救急救命学会の両者が保持するものとする。

## 19. 原稿の投稿方法

- 1) 論文投稿は電子媒体のみ受け付ける。
- 2) 著者は、図表入り完成原稿、図表ファイル(PDF形式以外)、誓約書(書式A)を本学会事務局に電子メールによって送付する。
- 3) COIの申告がある場合には、「投稿時COI(利益相反)申告書」(書式B)を合わせて送付する。
- 4) 著者は査読結果が通知された後、論文に修正が必要な場合は、1ヶ月以内に修正した論文、および査読コメントの回答文を返信する。
- 5) 著者は採択後の校正作業を1ヶ月以内に行う。



ホーム 学会概要 学術集会・イベント 学会雑誌 会員ページ 会員登録 事務局 お問い合わせ

学会オフィシャルサイトでは以下のドキュメントをダウンロードいただけます

日本病院前救急救命学会  
オフィシャルサイト  
<https://www.jspels.com>



## 【誓約書・COI申告様式】

誓約書、および申告するCOIがある場合はCOI申告書をご記入ください。

## 【投稿論文の査読に関するループブリック】

査読者は投稿論文に対してこのループブリックの評価項目を元にして査読を行います。

## 【論文投稿の流れ】

論文を投稿された際の採択までの流れを示した資料です。ご参考にしてください。

### 新役員の紹介

日本病院前救急救命学会は2021年6月の役員改選の結果、下記の役員が新たに就任しました。

役職	氏名	所属
理事長	脇田 佳典	和歌山県消防学校
副理事長	鈴木 健介	日本体育大学
副理事長	竹田 豊	出雲市消防本部
副理事長	中川 貴仁	弘前医療福祉大学短期大学部
理事	小山内 健介	弘前地区消防事務組合
理事	喜熨斗 智也	国土館大学
理事	関根 和弘	京都橘大学
理事	津波古 憲	国土館大学
理事	花田 利男	宗像地区消防本部
理事(事務局長)	張替 喜世一	国土館大学
理事	山内 一	新潟医療福祉大学
監事	中島 亮	司法書士なかじま法務事務所
監事	横田 順一朗	堺市立病院機構

### 令和4年度 学術集会開催のお知らせ

日本病院前救急救命学会では、下記の内容にて令和4年度の学術集会の開催を予定しています。

第8回日本病院前救急救命学会学術集会

会長名：関根 和弘（京都橘大学健康科学部救急救命学科 教授）

テーマ：前へ

開催場所：京都橘大学

開催日（予定）：2022年10月22日(土)

事務局：京都橘大学健康科学部救急救命学科

事務局長：福岡 範恭

日本病院前救急救命学会  
オフィシャルサイト  
<https://www.jspels.com>



### 編集後記

東京・国立競技場で行われたTOKYO2020の開会式。国旗を運んだのは4人のアスリートを含む8人。1964年の東京五輪重量挙げ金メダルの三宅義信さんやシドニー五輪女子マラソン金メダルの高橋尚子さんら、赤いジャケットを着た方たちとともに、救急服のまま国旗を運んだ女性救急隊員がいました。「コロナ禍において、わたしたちの生活を支えて下さった医療従事者の方々に対する最大の謝意を示し、全世界への発信を行う」と説明されました。トレンドワードランキングにも上がるほどの注目を浴び、「全盲のドラマーの補助じゃないか」「国内でコロナと戦う医療従事者代表」「多様性の象徴」といった憶測が飛び交いました。今回のオリンピックのテーマは「多様性と調和」でした。緊急事態宣言が出される中、ほとんどが無観客で行われた異例の大会でした。医療スタッフとして協力した本学会の会員の方々もおられたでしょう。開催の是々非々は今になっても判断がつかえません。しかし、このオリンピック・パラリンピックに関わったすべての方の労をねぎらうとともに、多様な職種や立場の人が一丸となって大きなイベントを成し遂げてくれた、そのことに感謝したいと思います。

今回のニュースレターは、来る10月31日に予定しております、第7回日本病院前救急救命学会学術集会のアナウンスをメインにお届けしました。コロナ禍ということもあり、オンラインでの開催ではありますが、お仕事やお住まいによっては、参加しやすい環境となる方もおられます。会員の皆様は参加費無料です。また、非会員の方も抄録集（救急救命士ジャーナル第2号）を含めた参加費ですので、大変お得な金額設定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。（T.Ichiryu）